

## IAEG 新役員(2019—2022 年)

9月16日にサンフランシスコで開催されたIAEG総会において、次期(2019年1月から4年間)のIAEG会長、事務局長、会計と各地区副会長の選挙が行われ、その結果は下記のとおりです。今回からアジア地域副会長は2名になりました。その本来の理由はアジア地域が東アジアから中東まで非常に広大であり一人ではカバーできないということによるものでしたが、今回の決定では担当国域で区分せず地域全体から2名となり、中国と韓国から選出されました。なお、会長とヨーロッパ地域副会長以外は立候補が1名で票差による選出はありませんでした。

- ・IAEG 会長  
Rafiq Azzam (ドイツ)
- ・IAEG 事務局長  
Faquan Wu (中国), 再任
- ・会計  
Jean-Alain Fleurisson (フランス), 再任
- ・アフリカ地域副会長  
Tamunoene Kingdom Simeon ABAM (ナイジェリア)
- ・アジア地域副会長  
Bo-An Jang (韓国), Huiming Tang (中国)
- ・オーストララシア地域副会長  
Doug Johnson (ニュージーランド)
- ・ヨーロッパ地域副会長  
北地域 Eugene Voznesensky (ロシア)  
南地域 Vassilis Marinos (ギリシャ)・・・Marinos 元会長の子息
- ・北アメリカ地域副会長  
Jean Hutchinson (カナダ)
- ・南アメリカ地域副会長  
Norberto Jorge Bejerman (アルゼンチン)

次期会長となったRafiq Azzamは現在北部ヨーロッパの副会長を務めており、RWTH Aachen工科大学の教授で落ち着いた人柄です。また、事務局長を再任された中国のFaquan Wuは、アジア地域副会長のあと二期事務局長を務めており、これで三期目となります。IAEGや国内の学会活動に非常に熱心で、専属でIAEG活動に対応できる秘書を持つなどの点が評価されています。今回、アジア地域の副会長に選出されたBo-An JangはKangwon国立大学の教授、Tang HuimingはWuhanにある中国地質大学の副学長です。